

開催日及び開催場所	令和８年　８月２４日（月）　　　　大手前合同庁舎　１階　共用会議室１		
委員 （五十音順） （敬称略）	安部　将規　（アイマン総合法律事務所　弁護士） 神田　彰　　（公益社団法人関西経済連合会　理事） 小林　磨美　（立命館大学　教授） 柴田　潤子　（神戸大学大学院　教授） 八木　知己　（京都大学大学院　教授）		
審議対象期間	令和７年１０月１日　～　令和８年３月３１日		
報告事項	① 半期毎の発注状況 ② 指名停止措置の運用状況 ③ 談合情報等の対応状況 ④ 再度入札における一位不動産状況 ⑤ 低入札調査対象工事・業務の発生状況 ⑥ 一者応札の発生状況 ⑦ 不調・不落の発生状況 ⑧ 高落札率の発生状況	（備考） ・ ①～⑧について、 整備局資料に基づき 説明を行った。	
審議事項		（備考） ・ 審議対象案件は、別紙「審議案件一覧」 のとおり	
契約方式	総件数１０件		
（工事） 一般競争入札方式（WTO 対象） 一般競争入札方式（WTO 対象外）	2 件 4 件		
（業務） 簡易公募型競争入札方式 随意契約方式	2 件 1 件		
（役務及び物品） 一般競争入札方式	1 件		
委員からの意見・質問 それらに対する回答等	意見・質問	回　　答	
	１．報告事項のとおり ２．審議事項のとおり	１．報告事項のとおり ２．審議事項のとおり	
委員会による意見の 具申又は勧告の内容	なし		

令和８年度 入札監視委員会 第１回定例会議 抽出工事等一覧

抽 出 工 事 対 象 期 間 : 令和 7 年 1 0 月 1 日～令和 8 年 3 月 3 1 日
 抽 出 年 月 日 : 令和 8 年 5 月 2 8 日
 抽 出 委 員 : 公益法人 関西経済連合会 理事 地域連携部長 神田 彰 委員
 抽 出 資 料 : 入札方式別発注工事等一覧表

抽出工事件名等

	入札方式	工事名・業務名	工事種別・業務区分・業務分類	契約金額 (千円)	備考
①	一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事)	下島地区南側高規格堤防盛土整備他工事	一般土木工事	984,412	淀川河川事務所
②	一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事)	神戸西バイパス菅野高架橋（上り）（A1-A2）PC上部工事	プレストレスト・コンクリート工事	947,100	兵庫国道事務所
③	一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外)	国道 1 7 1 号南芥川町交差点改良他工事	アスファルト舗装工事	278,300	大阪国道事務所
④	一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外)	R7豊岡管内国道 9 号交通遮断設備更新工事	電気設備工事	55,990	豊岡河川国道事務所
⑤	一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外)	那智川本川上流遊砂地護岸他工事	一般土木工事	219,120	紀伊山系砂防事務所
⑥	一般競争入札方式 (政府調達に関する協定適用対象工事以外)	R7日野川久喜津地区中流河道掘削工事	一般土木工事	92,345	福井河川国道事務所
⑦	簡易公募型競争入札方式	西舞鶴道路他水文調査業務	地質調査業務	40,436	福知山河川国道事務所
⑧	簡易公募型競争入札方式	国営飛鳥・平城宮跡歴史公園事業再評価等業務	土木関係建設コンサルタント業務	14,740	国営飛鳥歴史公園事務所
⑨	随意契約方式	国立京都国際会館展示施設増築等工事監理業務	建築関係建設コンサルタント業務	45,100	京都営繕事務所
⑩	一般競争入札方式	芝辻町宿舍内装等修繕	役務	2,663	奈良国道事務所

近畿地方整備局 入札監視委員会（令和８年度第一部会第１回定例会議）審議概要

意 見・質 問	回 答
１．報告事項 ① 半期毎の発注状況 ・ 特に質問なし。 ② 指名停止措置の運用状況 ・ 特に質問なし。 ③ 談合情報等の対応状況 ・ 特に質問なし。 ④ 再度入札における一位不動状況 ・ 特に質問なし。 ⑤ 低入札価格調査制度調査対象工事・業務の発生状況 ・ 特に質問なし。 ⑥ 一者応札の発生状況 ・ 特に質問なし。 ⑦ 不調・不落の発生状況 ・ 特に質問なし。 ⑧ 高落札率の発生状況 ・ 特に質問なし。 ・ 報告については了承とする。 ２．審議事項 ■ 抽出案件結果報告 ■ 抽出案件説明及び審議 ● １．一般競争入札方式(WTO 対象) (下島地区南側高規格堤防盛土整備他工事) ・ 入札無効者が多いがその理由は。 ・ 競争参加資格が無いとされた業者がいるが、事前に参加資	・ 入札額が調査基準価格を下回り、施工体制確認調査を辞退された為。 ・ 事前に参加要件を示しているが、工事实績の無い業者が応募

格の内容を周知していても、そのような業者が応募してきたということか。	してきたため、参加資格無しとしている。
・ 今回の施工範囲は事業地の一部であるが、全体計画はどのようになっているのか。	全体に高規格堤防として整備していく箇所である。最終的に盛土をした後は守口市の義務教育学校ができる予定である。
・ 全体ではなく、一部きり出しての工事であるが、なぜ一部だけなのか。	学校の校舎が建つ南側を先行したもの。今回の対象地の北側には関西電力の鉄塔があり、これも移設する必要があるため、時期をずらしている。
・ 本件は了承とする。	
● 2. 一般競争入札方式(WT0 対象) (神戸西バイパス菅野高架橋(上り) (A1-A2) PC 上部工事)	
・ 技術提案の点数に1番では無い業者が落札となっており、他社の方が高かったが、これは、どこで差がついたのか。	重要度と確実性で技術評価している。提案内容を総合的に評価をしたうえで差がついている。
・ 1番技術提案の点数が高い業者が予定価格を超過している。良い提案をしたから、金額が上がったのか。	提案の内容によって、応札額が上がったわけではない。
・ ワークライフバランス関連認定制度は何か。 点数の入っていない業者もいるが、点数をとるのが難しいものなのか。	平成28年度から取り組んでいるもの。国土交通省に限らず全省庁で行っている。
・ 頑張って取得をしようとするものなのか。	「えるぼし」「くるみん」等、厚生労働省が取り組んでいるものに該当すれば加点となる。
・ 本件は了承とする。	多くの業者で取得はされている状況である。
● 3. 一般競争入札方式(WT0 対象外) (国道171号南芥川町交差点改良他工事)	
・ 半数以上が入札を辞退しているが、考えられることは何か。	参加業者にヒアリングをしたところ、他の工事を受注したため辞退したのが3者。社内基準で採算性がとれないと判断したものが2者であった。
・ 配置予定技術者の点数が1者が低いのは何故か。	同種工事の実績で差がついたもの。
・ ワークライフバランスの点数は取得が難しいと思うが、加点が0.5点となっているのは、このようなものか。	全国的に定められている点数である。

・ 本件は了承とする。 ● 4. 一般競争入札方式(WT0 対象外) (R7 豊岡管内国道 9 号交通遮断設備更新工事) ・ 参加者が少ないが、これは設備の部分は買ってきて、あとは設置するだけの工事か。 ・ 落札した業者の企業の施工能力等が 25 点中 2.5 点。配置予定技術者の能力が 15 点中 3.5 点となっているが、施工は大丈夫なのであろうか。 ・ 最終的に入札者が 1 者だけとなっているが、増やすことはできないものか。 ・ 今後入札者数を増やす工夫は考えられているか。 ・ 本件は了承とする。 ● 5. 一般競争入札方式(WT0 対象外) (那智川本川上流遊砂地護岸他工事) ・ 応札額が近くなっている。容易に算定できるものなのか。 ・ 本件は了承とする。 ● 6. 一般競争入札方式(WT0 対象外) (R7 日野川久喜津地区中流河道掘削工事) ・ 入札価格は差が付かない状態となっている。差が付いているのは技術評価点の企業の施工能力のところ、具体的にはどのようなところで差がついているのか。	・ 評価項目は本来品質が向上するものの加点を大きくしたいと考えている。一方、政府調達の関係でワークライフバランスの関連認定制度を取っている企業も評価しなければならず、しかし、工事の成果物の品質が上がるとは言いにくいので、他のものと比べると少ない点数にしているところ。 そのとおりである。 複数の評価項目の内、「新技術活用」「ISO 認証」「災害協定」のみの加点となっている。同種工事が多く発注されていないので、その部分の加点がなく、点数が低くなっている。 参加要件は緩和しているが、遮断機の工事は専門性が高く、工事数も少ない中で、参加者が少なくなっている。 専門性の高い工事は参加者が少ない。近隣事務所と併せて発注し、規模を大きくするなど、なんらかの工夫を考えなければならないと思っている。 標準歩掛りは公開されているものであるし、標準歩掛りがない項目については、参考見積もりを徴収しており、入札参加者に周知しているため、予定価格を推測することは可能である。 過去 5 年間の工事実績のところで評価されているところ、災害対応及び表彰の有無で差がついている。
---	--

・ 施工能力で差がつくことは少ないのか。 ・ 災害対応や表彰を受けていることについて定めているのはなぜか。 ・ 技術評価点の中では受注工事比率が重要であったのか。 ・ 結果的に入札額は一番低く、かつ、品質も確保出来る業者が落札できており、良い入札であると思っている。いろいろ工夫がされているということか。 ・ 本件は了承とする。	・ 掘削工事は単純な工事であるので、差が付くことは少ない。 ・ 近畿地方整備局で公表している評価項目の設定に基づいている。 ・ 国土交通省の工事実績だけでなく、自治体の発注した工事でも実績があれば参加可能としている。 ・ 昨年度掘削工事は平均 20 者であったが、今回は 25 者あり、増えてきている実感はある。 ・ 受注工事比率の箇所の点数差が大きいので差がつきやすい。 ・ 地域要件や自治体の実績も加えるということをした結果であると思っている。
● 7. 簡易公募型競争入札方式 (西舞鶴道路他水文調査業務) ・ 入札額は全社横並びで、差がついたのは技術評価点のところ。特に実施方針で差がついている。この差はどのようについていたものか。 ・ 落札した業者は評価点が満点で恐らく次も満点になると思う。他の業者が学んで点数が上がるようなことはできるのか。 ・ 本件は了承とする。	・ 工程表でクリティカルパスを入れているか、重要事項の指摘をしているか、工事を継続して実施しているので、水質や水位が変わったことについての考察について記載の有無で差がついている。 ・ そのあたりが企業の技術力になるのかなと思う。
● 8. 簡易公募型競争入札方式 (国営飛鳥・平城宮跡歴史公園事業再評価等業務) ・ 落札業者の技術点が高かった理由を教えてほしい。 ・ 本業務は 5 年に 1 回行うとのことであるが、前回の入札状況はどうであったか。 ・ 落札された業者は前回と同じ業者か。前回落札された業者が有利となっていないか。	・ 実施方針の評価の差で技術評価点が高くなった。 ・ 前回の参加者は 4 者であった。 ・ 今回とは別の業者が受注していた。

・ 参加業者の選定にあたり、同種業務が少ないと点数が少なくなり、新規参入が難しくなるのではないかと。新規参入では難しい仕事か。 ・ 本件は了承とする。 ● 9. 随意契約方式 (国立京都国際会館展示施設増築等工事監理業務) ・ 複数回入札に付しても参加者がいなかったため随意契約となっているが、それほど工期的に短いものでもないと思われるが、何故、参加者がいなかったと考えられるか。 ・ 人が足りないということが原因か。 ・ 随意契約では6者が参加しているが、入札者がいないところに6者も見積もりしている。これらの者は契約までする意思をもって参加していたのか。参考に出されただけなのか。 ・ 予定価格に比べて低い金額になっているが、当初入札に付したときと比べてどうなのか。あと、6者の見積もり金額はどうなっているのか。 ・ 本件は了承とする。 ● 10. 一般競争入札方式 (芝辻町宿舍内装等修繕) ・ 入札価格にバラつきがあるが。理由はわかるか。 ・ 予定価格と比べて、かなり安い価格で落札している。この金額で施工は大丈夫なのか、若干心配になるが、そのあたりはどうか。 ・ 本件は了承とする。 ・ 審議事項についてはすべて了承とし、審議については終了とする。	・ 公園事業に熟知された方に請け負って頂く必要があるため、ある程度の技術力を評価するところは外せないと思っている。 ・ 業者に対するヒアリングにおいて、技術者を確保するのが難しいとのことであった。 ・ そのように理解している。 ・ 6者とも契約されるつもりで見積もりを出されたと認識している。 ・ ヒアリングの中で価格が見合っていないと言う話もあったので、複数回入札に付す中で価格も見直している。6者の見積もり金額にはバラつきがあった。 ・ 入札参加業者から参考見積もりを徴収している。業者ごとにバラつきがあるが、そういうものだと思う。 ・ 施工実績は求めているが、幅広く参加業者を募った結果であり、施工は適切にできるものと思う。
---	---